

現場の声を政府に届けなければ現状の改善は見出せません

診療報酬の大幅引き上げの会員署名で 今こそ声を上げよう

大分県保険医協会では、医療機関の厳しい現状を打開するために診療報酬の引き上げを求める医師・歯科医師要請署名に取り組みます。

診療報酬の大幅引き上げには、地域医療を最前線で支える医師・歯科医師の声が必要不可欠です。同送の署名用紙にご署名いただき、協会事務局までご返送ください。協会ホームページからダウンロードした署名用紙に入力しメールでご提出いただくことも可能です。

いただいた署名は、内閣府、厚労省、財務省に提出いたします。

【提出予定】

第一次 : 10月30日(木)国会行動・大集会(医団連・厚労省要請)

第二次 : 11月20日(木)国会行動・集会(財務省・厚労省要請)

最終提出 : 12月上旬

署名の返信先	大分県保険医協会
返信先ファックス番号	097(568)1570
返信先メールアドレス	doctor@oboe.ocn.ne.jp

「今こそ診療報酬の引き上げ」財務省・厚労省も医療機関の現状に理解示す

6月5日、保団連は「物価高騰に対する医療機関への財政措置を求める」会員署名と保団連加盟の51のすべての保険医協会・医会の団体署名を財務省・厚労省に提出し、要請しました。

財務省は吉野維一郎主計局次長、厚労省は伊原和人事務次官が対応しています。

51協会・医会すべてから医療機関への財政措置を求める団体署名が集まりました。医療機関経営の危機感と改善を求める声はこれまで以上に深刻な状況です。

財務省・厚労省ともに医療機関経営の困難な状況には理解を示し、何らかの対応を考えたいとの回答も得ています。

具体的に、診療報酬の大幅引き上げをはじめ医療機関の窮状を打開する措置は、署名の積み上げや医師・歯科医師からの強いメッセージがなければ実現出来ません。

今こそ会員署名にご協力をいただき、現場の怒りや不安を集約して届けましょう。